

補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	平成17年度国立公園利用適正化推進事業委託費		
2. 事業の目的及び内容			
(1) 目的	本州最大の湿原である尾瀬ヶ原をはじめとする湿原景観を有し貴重な動植物も分布し高い自然価値を持つ地域である。これらを将来にわたり保全していくために平成11年に国立公園利用適正化システムを構築した。また平成16年度までの5ヶ年間は、このシステムを運用しながら同システムの改善・充実に図り、新たな検討課題であったゴミの適正処理手法や野生生物との共存手法についても、より具体的・効果的な方策を検討し、利用の適正化を推進した。平成17年度からの5ヶ年間は、これまでシステム運用をしながら得られた知見をもとに、抽出された課題を解決するため、尾瀬関係者間でのシステム共有と運用を図り、利用の適正化をさらに推進することを目的とする。		
(2) 具体的な内容	利用調整推進事業、安全対策推進事業を実施している。		
3. 交付先の公益法人の名称	財団法人尾瀬保護財団		
4. 交付実績額	21,000千円(A)		
5. 補助金等における管理費			
(1) 人件費	8,598千円		
(2) 一般管理費	1,751千円		
(3) その他の管理費			
	内容	金額	
		千円	
		千円	
	内容	0千円	
	合計	10,349千円	
6. 外部への支出			
(1) 外部に再補助・再委託等されているものに関する支出			
	支出内容	支出先	金額
	適正収容力に基づく利用調整の検討・実施	(有)田園都市研究所	3,851千円
	生態系からみた収容力の予備調査	栗原雅博	993千円
	歩道管理システム用データ追加・整備業務	(株)アジア航測	1,616千円
	合計		6,460千円(B)
(2) (1)以外の支出			
	支出内容	支出先	金額
	旅費	職員・検討員・講師	1,166千円
	諸謝金	検討員・講師	185千円
	消耗品	文具店等	103千円
	借料損料	会議室、リース業者	221千円
	会議費	飲食業者	17千円
	賃金	アルバイト	62千円
	印刷製本(報告書、啓発リーフレット)	印刷業者	1,105千円
	備品費	テレメトリー調査用品	325千円
	保険料	各種調査員の保険	7千円
	合計		3,191千円

7. その他	
内容	金額
消費税及び地方消費税	1,000千円
	千円
合計	千円
8. 再補助・再委託等の割合	30.76%(B/A)